

神戸常盤大学 アセスメント・プラン(実施方針)

神戸常盤大学では、知性と感性を備えた優れた専門職業人の育成を目的として、ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)及びスチューデントサポート・ポリシー(SSP)を定め、更に、正課、準正課、正課外に亘る教育の成果を点検・評価するためのアセスメント・ポリシー(ASP)を定めている。

このアセスメント・ポリシーを実質的に機能させるために、アセスメント・プランを策定し、目的、実施方法、実施計画、及び活用に関する実施方針を定める。

【全学アセスメント・ポリシー】

本学は、ときわ教育目標を達成するため、入学、教学、卒業(学位)、支援その他の事項に関して、次に掲げる評価を毎年度定期的に行う。

- ①大学を対象とする評価
- ②学部・学科を対象とする評価
- ③授業科目を対象とする評価
- ④学生個人を対象とする評価

被評価者は評価の結果を受けて、必要と認められる事項に関して、適切な改善を行う

アセスメントの目的

本学が定める各ポリシーが適切であるかどうか、また本学の諸活動がポリシーに基づき適切に機能しているかを多面的・総合的に点検・評価し改善に繋げることで、ときわ教育の質を保証し、維持・向上させることを目的とする。

アセスメントの実施方法

☆評価対象は、①大学 ②学部・学科 ③授業科目 ④学生 とする。

☆各評価対象は、アセスメント実施計画表に示す点検・評価項目に基づき、各ポリシーや諸活動の適切性に加え、入学時(AP)、在学中(CP, SSP)、卒業前/卒業後(DP)の学修成果や満足度等の点検を実施する。

☆評価対象①～③は、ポリシーごとの点検結果を俯瞰的に捉え、ポイント A・B を念頭に自己評価する。

☆評価対象④は、自己の活動記録や学修成果を俯瞰的に捉え、自己評価を行い未来への目標を設定する。

アセスメント実施計画表

ポリシー		入学(AP)	教学(CP)・支援(SSP)	卒業(学位)(DP)・
ポイント A ※ポリシーや諸活動の 適切性		AP と選抜活動の 適切性	CP・SSP と教学・支援活動の 適切性	DP と学位授与活動の適切性、 社会からの評価
ポイント B ※「評価」と「改善」の 目指すべき方向		【本学が社会から選ばれ続ける大学】であることを目指し		
		本学が 受験生から選ばれたか 入学者から入学満足度が 得られたか	在学生が 満足感を得られたか 成長を実感できたか テラーメイド教育を実感できたか	卒業生が 満足感と成長実感を得て卒業できたか 社会から受け入れられたか
点検・評価項目	①大学対象	☆②の点検・評価結果 ☆新入生調査	☆②～④の点検・評価結果 ☆在学生調査(全学年)	☆②④の点検・評価結果 ☆卒業前調査 ☆卒業生調査 ☆就職先調査
	②学部・学科 対象	☆入学試験情報 ☆基礎テスト ☆新入生調査	☆取得単位数、GPA 値、出席状況 ☆学籍情報 ☆在学生調査(全学年) ☆学生活動の記録・ときわコンピテン シーの自己評価	☆卒業前調査 ☆学籍情報 ☆国家試験・免許・資格情報 ☆教員採用試験情報 ☆就職・進学情報 ☆卒業生調査 ☆就職先調査
	③授業科目 対象	—	☆授業評価アンケート ☆単位取得率、成績分布、出席状況	—
	④学生個人 対象	—	☆取得単位数、GPA 値、出席状況 ☆学生活動の記録・ときわコンピテン シーの自己評価	☆取得単位数、GPA 値、出席状況 ☆卒業前調査 ☆卒業生調査

※学部・学科、授業科目及び学生個人レベルでは、学科等が独自の項目を追加する場合がある。

※評価項目については、定期的に全学的な見直しを実施する。

アセスメントの活用

☆各評価対象は、点検・評価結果から課題を抽出し、改善に取り組む。

☆各評価対象の点検・評価から抽出された課題や改善計画等は、学長会議・運営委員会で全学的に共有・審議し、理事会に報告する。

☆IR 室は、集計結果を各評価対象に提供し、学長会議等への報告情報を集約・作成する。

☆アセスメントに関する情報は IR 室が取り纏め、学内外への公表を積極的に行う。

以上